

A 3D geometric logo consisting of several white and light orange planes forming a complex, angular shape.

学びのアップデート
Learning Updates

- 高校生が実際に「SNSを使った活動」に挑戦しています。
- 「学習者用端末を文具のように使いこなす」とは？
- 「生成AI読書感想文コンクール」とは？

高校生が実際にSNSを使った活動に挑戦しています。

SNSを上手に活用することの指導について

高校生が、身近な社会問題を解決する活動について話し合っています。

SNSの効果的な活用について議論しているようですね。



SNSについて考えることはよいことだけど、参考となる実際の事例が欲しい。。



次のページで、高校生が自分たちでSNSを使いこなしながら社会活動している例を紹介します。



高校生が実際にSNSを使った活動に挑戦しています。

みらいもり

昭島市発祥のボランティア団体「未来守」のSNS戦略

未来守公式サイト <https://www.miraimori.org/>

組織と活動内容

- 高校生だけで構成されたボランティア団体
- 昭島市や福生市、町田市を中心に活動
- 月に1度清掃活動、不定期で学習支援活動を実施

SNSでの活動内容

- メンバーの募集
- 情報交換
- 寄付金活動
- 活動の企画
- 活動の告知
- 活動の報告

※赤色は特に重要と考える活動



活動をSNSで活動を周知

○組織立ち上げ当初

当初は活動を広めるために多数のSNSを駆使

Webサイト	Facebook	Instagram
LINE	note	X(旧Twitter)

課題意識

- ・ SNSの運営は大変。学業と両立させたい。。
- ・ 高校生に注目されないSNSもありそう。。

改善

○現在

Instagram
X(旧Twitter)

活動の負担を考えSNSの数を減らした

SNSの運営について後輩たちに伝えたいこと

- * SNSを絞っても今までどおり活動できた。気軽に話題を共有できている。
- * 「顔出しはしない」「背景写真で住所を特定されないようにする」「誤解されない言葉遣い」とルールを定め、互いに呼びかけあって活動している。おかげで危機意識を身に付け、安全に活動できている。
- * できる範囲で活動を継続するため、これからも**使い方を見直すのがよい。**



高校生がボランティア団体のためにSNSを活用している実態はいかがでしたか。

この例のように実際にSNSを運用する高校生は少ないかもしれませんが、高校段階の学習の中で、**現代の社会課題を解決するためにSNSの活用法を考えさせること**は大切だと考えます。

小学校や中学校段階においては、SNSを含め、**よりよい情報発信の仕方**や**効果的な情報発信の仕方**を話し合いなどを通じて考えさせてみませんか。



「学習者用端末を文具のように使いこなす」とは？



よく聞くこのフレーズですが、私たちは、**児童・生徒が、使うアプリ等を自己決定しながら端末を活用している状況**だと考えます。一例を紹介します。

愛知県春日井市立高森台中学校の授業事例

学習内容

中学校 第1学年 社会科（地理的分野）

「B世界の様々な地域」（2）世界の諸地域 ⑥オセアニア

単元課題 「オセアニアは、なぜアジアとの結びつきが強くなったか」

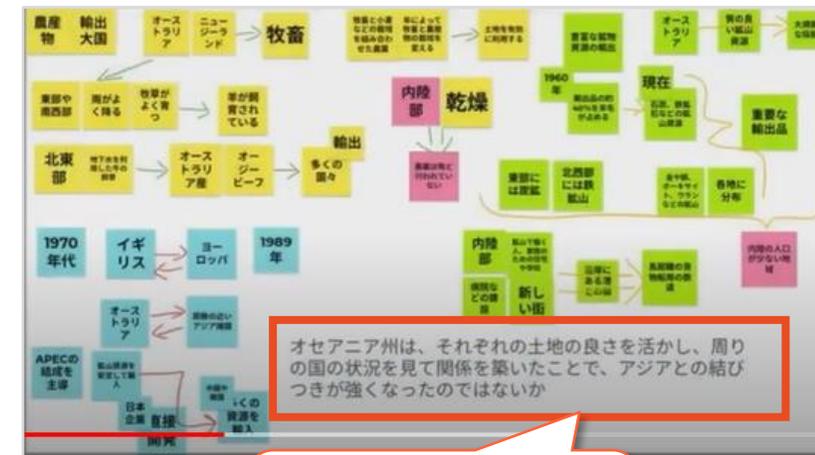
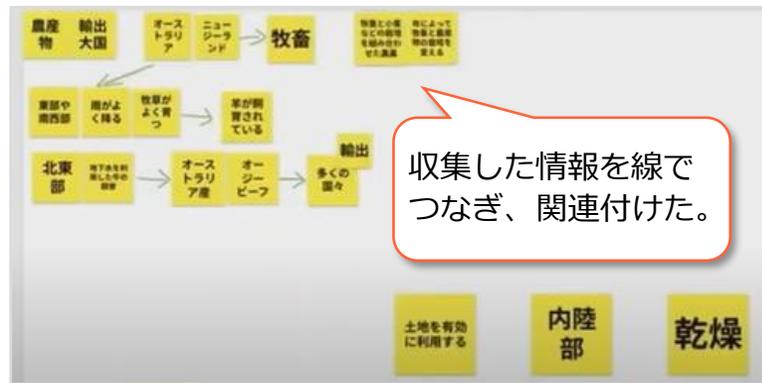
本時の課題 「オセアニアは、他の地域とどのように結び付いているか」仮説を立てて検証する。

①教科書や資料集から情報を収集。集めた情報を付箋紙アプリに記録する。

②収集した情報を整理・分析する。

③分析結果を基に、仮説を立てる。

収集した情報を、付箋紙アプリに入力した。

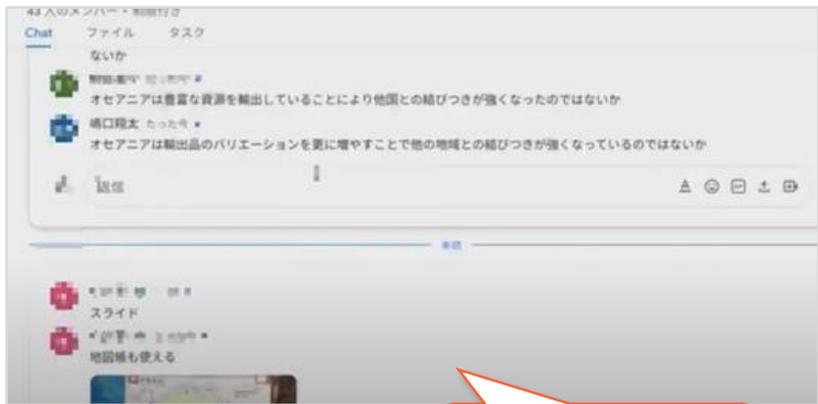


端末の使い方を身に付けた生徒は、教員から使い方の指示を受けることなく、自分の判断で活用していました。

付箋の位置を変えたり重ねたりしながら、集めた情報を分類した。

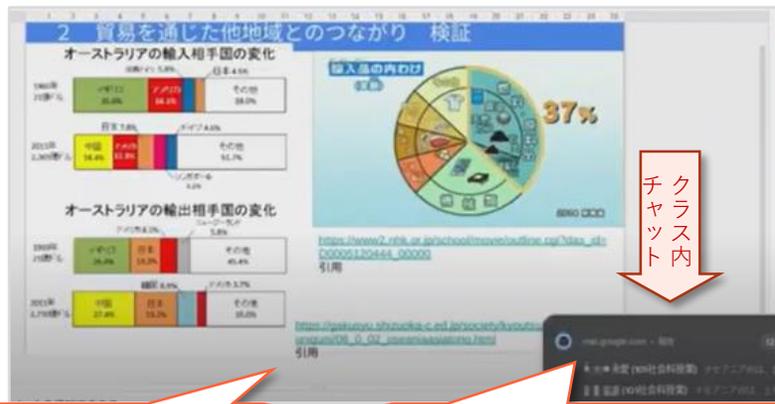
「学習者用端末を文具のように使いこなす」とは？

④設定した自分の課題をチャットで共有する。



自分の課題をチャット欄に投稿し、他の生徒と共有している。

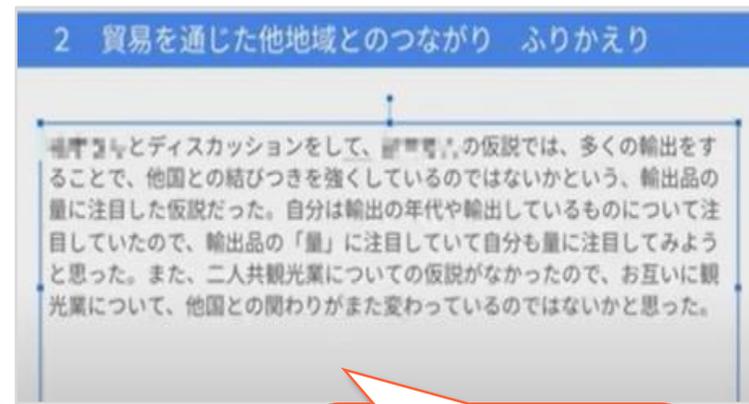
⑤資料を用いて発表用のスライドを作成・他の生徒に口頭発表



インターネットから必要な資料を収集し、スライドに貼付する。

チャットに流れてくる情報を見ながら、発表に向けスライドを作成している。

⑥振り返りを200字程度の文章で表現し、まとめる。



授業内の取組（ディスカッション）も含め、学んだことを入力した。

本授業を担当した先生から

学級内の全ての生徒がこのとおりに作業を進めているわけではありません。但し、子供たちは「情報を集める」「整理分析する」「仮説が立つ」「検証する」「検討する」という**学習の流れを身に付けているため**、各自のペースで進めていました。

生徒が学習に集中している様子が伝わりますね。

支援のポイント

- ①授業に関わる情報をクラウド上に置き、生徒を迷わせない。
- ②友達の取組がチャット上やクラスルーム上から常に参照できるようにする。
- ③教師はクラウド上で生徒を見取り、適切に支援する。

クラウドを整備し、端末を文具と同じように活用できるようになると、授業も変わっていきます。



「生成A I 読書感想文コンクール」とは？

山形県立酒田光陵高等学校（生成A Iパイロット校）では、**あえて**生成A Iを使って読書感想文を作らせる「生成A I 読書感想文コンクール」に取り組みました。生徒たちは、プロンプト（生成A Iに対する指示文）をかなり工夫しないと、よい感想文にならないと実感したようです。

授業の位置付け（高校 情報科（専門学科）1年 生成A Iリテラシー授業）

生成AIについて知る



生成AIの使い方を知る（本時）



他の教科で実践

授業の内容

① プロンプトの基本形の指導

「あなたは**です。***で****してください。」
のプロンプトから始め、生成A Iに対話を繰り返すよう指導

② A I の特性の理解

③ 「走れメロス」の読書感想文を A Iで書かせる実習

- 「走れメロス」の読書感想文を、生成A Iを用いて作成する。
- 字数は800字
- 感想文だけではなく、**プロンプトも提出**
使用したプロンプトをルーブリックで評価

生徒の感想

- ・ **感想文は生成A Iでうまく作れませんでした。**
- ・ 「走れメロス」は読んだことのある作品だったので自分らしい感想文が簡単にできると思っていたのですが、作品を知っているため、逆に難しかったです。

本授業を担当した先生から

- ・ **なかなか自分が思い描く感想文にならなかったようです。「自分の感想文」
にするため、プロンプトを相当工夫していました。**
- ・ 生成A Iの使い方を学ぶだけでなく、プロンプトづくりを通じて、論理的に伝える力や自分で考える力を身に付けさせることになるなど、面白い課題になったと思います。

内容を知っている読書感想文を生成A Iに書かせることで、生成A Iの仕組みや使い方を学び、**自分たちの学習にどう取り入れて
いくかを生徒自身で考える**ことができる事例です。



次ページに続く

「生成AI 読書感想文コンクール」とは？

生徒のプロンプト例

①あなたは高校生です。
国語の走れメロスで読書感想文を書いてください。
題名も考えてください。
##要件
・本の紹介を入れる
・本を読んで感じたこと。
・本を読んで考えた意見
・800字以内（できれば794字ぐらい）
・語尾を「だ。」や、「だった。」などにしてください。



②テーマを一つにして作ってください。



③最初の文は見ている人が興味を持ちそうな文章にしてください。



④語尾を「ですます」にしてください。



⑤自分の命よりも大切なものがあるとしたら、「それは何だろうか」の後に文をつけ足してほしいです。



⑥段落の最初にインデントを全角スペース一つ分空けてください。



⑦最後に15文字程度の文を追加してください。

作品例

読書感想文 本文

あなたは自分の命を賭けて友人を救えますか。

走れメロスは、古代ギリシャのシラクサの王ディオニスに反逆したメロスが、結婚式に出席するために王から一日の命をもらうという物語です。しかし、メロスは約束の時間に戻らなければ、身代わりになった友人セリヌンティウスが殺されるという条件を受け入れます。メロスは山賊や嵐に遭いながらも、必死にシラクサに戻ろうとします。果たして、メロスは友人を救うことができるのでしょうか。

この物語を読んで、私はメロスとセリヌンティウスの友情と信頼に感動しました。メロスは王の罠にはまりながらも、友人のために自分の命を賭けます。セリヌンティウスはメロスの帰りを信じて、王の拷問に耐えます。二人の間には、言葉では言い表せない強い絆があるのだと思いました。私は、自分にもそんな友人がいるだろうかと考えました。もしいるとしたら、私はその友人のために何ができるだろうか。自分の命よりも大切なものがあるとしたら、それは友情と信頼だと思いました。

私は、友情と信頼というテーマは現代の私たちにも関係するものだと思います。今の世の中は、人と人とのつながりが希薄になっていると感じることがあります。SNSやメールなどのコミュニケーションツールは、便利な反面、本当の気持ちや想いを伝えにくいものだと思います。私たちは、メロスやセリヌンティウスのように、自分の友人を信じて、支え合って、助け合っていますか。私たちは、自分の友人に対して、本当の友情と信頼を示していますか。

私は、走れメロスを読んで、友情と信頼という人間にとって大切なものについて考えさせられました。この物語は、私たちに何かを伝えたいのだと思います。それは、私たちが生きる意味や価値を見つけるためのヒントなのだと考えました。そしてそのヒントを活かして、自分の友人や家族や社会に貢献できる人間になりたいと思います。

良い感想文をイメージできているからこそ、プロンプトを重ね、自分の感想文になるよう苦心している様子が分かりますね。



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第23号 令和6年8月7日発行 東京都教育庁総務部デジタル推進課